

入学前特別講座①「入学前体験・交流プログラム」報告書

2020年1月27日（月）に名桜大学学生会館 SAKURAUM 6階スカイホールAにおいて、2019年度名桜大学入学前特別講座①「入学前体験・交流プログラム」を実施いたしました。初めての取り組みでしたが、2020年度自己推薦入試、推薦入試で合格した北部地区の高校生50名全員が参加しました。参加者の感想より有意義な入学前体験・交流会になったと思います。特に、12月2日（月）に開催された第3回高大接続勉強会における高等学校の先生方からの要望を受けて実施した大学の授業体験学習は好評で、今回の成果につながったことを実感しました。

当日の様子及び結果を報告いたします。

- ◆開講式 開会の挨拶（小番達リベラルアーツ機構長）
趣旨説明（高安美智子数理学習センター長）



開講式 小番機構長挨拶

①「基礎力診断テスト（小論文・数学）」

目的：大学入学後のスムーズな学習のための基礎力診断を行い、必要な生徒への学習支援に繋げる。

結果：入学前特別講座②の受講対象者：32名

（小論文：17名、統計学基礎：20名、2科目対象者：5名）

◆学習センター紹介



ライティングセンター



言語学習センター



数理学習センター

②入学予定者と学生団体の交流会

- 目的：1)名桜大学は、そもそも北部地域に貢献することが目的であることを理解してもらう。
2)他の同級生と比べたときの自らの強みを理解してもらう。
3)教養演習においてリーダーシップを発揮してもらう。
4)2021（令和3）年度入学予定者との交流会の企画・運営にも興味をもってもらう。

参加者：入学予定者 50名

学生団体 10名

	国際学群	スポーツ健康学科	看護学科	総計
名護座	18	5	9	32
宜野座	4	1	2	7
名護商工	4			4
本部	3	1		4
北山			2	2
辺土名	1			1
総計	30	7	13	50

言語学習センター	飯塚竜之介	国際学群	3年
	村川 愛実	国際学群	2年
ライティングセンター	加藤 小春	国際学群	4年
	高橋 怜央	国際学群	4年
数理学習センター	宮川寛太郎	国際学群	4年
名桜ウェルナビ	米澤 南華	国際学群	4年
	池間 大	国際学群	3年
	佐久本稀里	国際学群	3年
	前原 信利	スポ健	2年
(※団体推薦)	※花城 悠向	国際学群	2年

アイスブレイキングの様子



入学予定者と学生団体の交流会

司会進行：木村先生

13:00 開会の挨拶

13:02 自己紹介と関係づくり（名桜ウェルナビ）

各グループ内の6名の関係づくりのアイスブレイキング

13:20 グループワーク（45分間）

＜グループの課題＞

入学後、他の同級生に北部地域のことを紹介することになりました。
あなたは自分の地元である、北部地域の「強み」と「弱み」を紹介したい。話し合い後、担当のテーマについて1分間で発表してもらいます。

＜テーマ＞

①気象、②食べる、③学ぶ、④移動、⑤働く、⑥育てる、⑦楽しむ、⑧買う、⑨健康、⑩環境

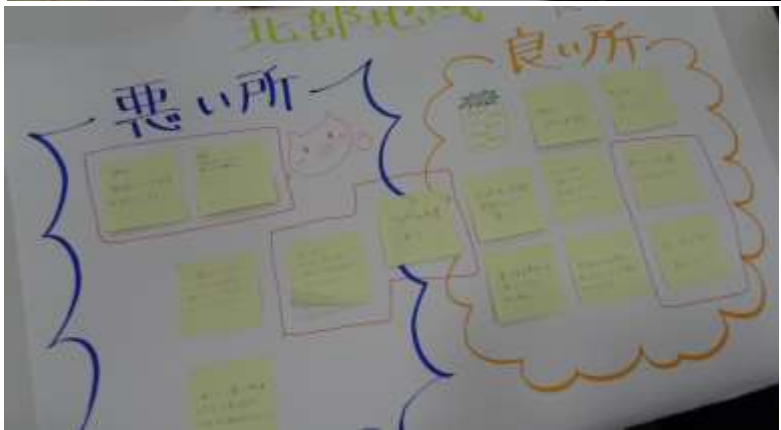
14:05 発表（1グループにつき1分）…発表終了後に記念写真

14:20 教員からの講評（木村先生）…今日の交流会の目的と成果
集合写真撮影



交流会グループワークの様子

★グループワーク 北部地域の紹介
それぞれのテーマで強みと弱みを考える



◆参加者の感想

- ・楽しかったです。新しい出会いがありました。
- ・大学生の日常を知れて良かった。いろいろな人と触れ合うことができて楽しかった。
- ・楽しく、多くの学びがありました。もう少し早めの実施がいいかなと思いました。
- ・3限目の交流会がとても楽しかったです。大学の先輩もとてもフレンドリーに接してくださり、「大学に入ったら今日みたいな話し合いを多くやるよ」と教えてくれました。
大学に入る前にイメージを少し持つことができて良かったと感じています。
- ・大学生との交流会では、大学生に限らず、他の入学予定者とも友達になれて楽しく交流することができました。4月から名桜生という自覚を持って楽しく過ごしていきたいと思いました。

③体験授業 「大学と人生」(16人)「ベンチャービジネス」(9人)「対人コミュニケーション論」(23人)

①大学と人生 (多目的ホール) 授業担当者：山里勝己学長

講 師：石野裕子氏 (元今帰仁村歴史文化センター館長) による講話

テーマ：「あっちこっち寄り道しながら働き口を探してきました」

＜受講生の感想＞

- 日本のリアルな話が聞けて、とても興味深い話でした。また、石野さんが沖縄のことを話してくれて、体験者から聞く直接のお話だったので、とても心に響きました。
- 石野さんの今まで生きてきた内容が濃くて、また自分の生き方にも目を向ける良い機会であった。リストラが大企業で多く行われていると始めて知って驚いた。世界人助けランキングで日本は最下位。外国人が日本に来たときに、財布を落としたとしても手元に帰ってきたという話は良く聞いたことがあるので、人助けランキングは高いのかと思っていた。身近への思いやりの心が大切なんだと感じた。
- 多目的ホールで、多くの大学生の方と講座を受けて、大学の雰囲気を感じました。
- 「何をやりたいか」ではなく、「何をやりたくないか」を見る。見下されないためにも、歴史等を知っていることは大切。
- 石野裕子さんは沖縄を出て内地に行ったときに、沖縄人というだけで偏見があったと言っていた。その時は沖縄県が日本に戻ったばかりでめずらしがられた。話すときもなまりを指摘されたりして、日本語を話せることも驚かれたとわかった。沢山の国に訪れてその国の名産品を見たらその国の人たちのことを考えるようになったと言っていた。海外に行ったことで幸せに生きることはシンプルだと気づき、自分がはつらつに生きることを目標にしていると言っていた。
- 日本の企業のリストラの話など、仕事のことを沢山聞けてすごいためになりました。今回の講座の話は石野さんの視点からの話だったけど、自分があまり考えないことだったし、すごく考え方が深いと思って楽しかったです。他の人の意見を聞いてそれを自分のものにできたらいいと思いました
- 損得で仕事を選ぶのではなく、わくわくする方を選ぶことが人生が豊かになると分かった。
- 「働き口」の講義を受講したが、沖縄の最低賃金が790円しかないということに驚いた。また、世界人助けランキングでは、日本は125位中最下位だという状況にとっても驚いている。沖縄が本土復帰する前はお金も数え方が違うし、差別的なことを言われたりしていたと聞いて少しショックだった。
- 高校とはまた一味違っていて、授業時間も長いし少しゆるい感じもした。
- 日本は憲法が守ってくれると言っているけど、いまだに部落差別や偏見が残っている。憲法ばかりに頼っているのは現状を変えることができない。だからこそ、自分なりの考えや多様な価値観を受け入れる力が重要になってくると思った。
- 石野裕子さんのこれまでの人生の話を聞いて、沢山学ぶべきところがありました。これからの私の大学生活や自立していくための良いアドバイスになりました。



②ベンチャービジネス（108 教室）授業担当者：林優子教授（国際学群 専門：経営戦略）

講師：野澤浩樹氏 株式会社シーポイント代表取締役（ていーだブログ）による講話

- 実際に経営者の方から説得力のある話が聞けてよかった。大学の授業の雰囲気がつかめてよかった。
- 一人でなければならないことはない。日本よりも日本が田舎だと思っている国のほうが明確なビジョンを持っていて、発展していることが分かった。もっと世界について知りたいと思った。
- 今日はベンチャービジネスの授業を聞いてみて、高校の授業では学ぶことのできない内容を学ぶことができてよかった。自分も将来起業しようと思っているので、大学に入ってからもっと詳しく学びたいと思いました。
- 世界一の電子国家であるエストニアという国を初めて知りました。日本は IT が進んでいる国だと勝手に思っていたけど、世界で見るとまだまだなのだと思った。また、シーポイントさんがチョコレートを作り販売していることに一番驚いた。
- こんな私たちでも、会社を立ち上げたり、メーカーを作ったり簡単にできると説明もしてくれたり、実際の講師の方は行動力もすごく、説明のお陰で自分も挑戦しようかなという気持ちになりました。
- 世界規模で物事を考える。日本人の考えは、視野が狭い。視野を広く考える。沖縄は、アジアのハブとなっていて、発展に大きく関わることができる。日本パスポートは世界一のパスポート。多くの信頼を得ている。
- 私は、今将来の夢ややりたい職業がありません。でも職について多くのアドバイスがあったのでそれを考えて見つけていきたい。



③対人コミュニケーション論（211 教室）授業担当者：木村堅一教授（国際学群 専門：社会心理学）

- 自分たちでグループワークを通して返報性、一貫性を見つけ出すのがとてもおもしろかった。
- 木村先生の心理学の講座を受けて、人間は目だけでなく心にも盲点がある事を知った。盲点を使ってビジネスを行ったり、自身の脳の負担を軽くしたりなど、様々な活動をしていることが知れた。洗脳は心理学的にも簡単に行えるということなので、今後の生活に気を付けようと思った。普段の生活の中で共感できる部分があり、心理学って楽しいなと思いました。
- 今日は対人コミュニケーション論の講座を受けて、3つの盲点について考えることができました。また高校と違い考え方に深みがあり楽しかった。
- 今まで見たことのない視点から文章を読み取っていくのは面白かった。先輩も優しかった。
- 返報性や一貫性、そして社会的証明についてよくわかった。社会には自分の考えをコントロールする様々なことがあると分かり、それを意識していこうと思った。
- 対人コミュニケーション論を受講して、普段自分たちが気づかない間で行われている返報性、一貫性、社会的証明のような盲点を知ることができて良かった。これからは盲点を少しでもいいから気にしながら日々を過ごしていきたいと思いました。また、人間の性質を知れてとても面白かったです。
- 人間の盲点を利用した洗脳の授業で分かりやすく楽しかった。
- 大学では自分で答えを見つけ出さなきゃいけないので勉強とか大変だと思いました。



◆「入学前特別講座①」の満足度について

- ア. とても満足している(28人) イ. やや満足している(19人)
ウ. あまり満足していない(0人) エ. 不満である(0人)

◆ 今回の講座の実施に関して意見や要望等を自由に記入してください。(一部抜粋)

- 大学の授業を実際に多目的ホールで学生と一緒に受講し、大学に入学したら同じ感じで授業を受けるということを体験できたので、とても貴重な体験ができたなと思いました。
- 今年からこの講座を開講したということだったが、とてもいい機会だと感じた。この機会を伝統にするのもありだと思う。大学に入る前にイメージを少し持つことができて良かったと感じています
- 入学前にこのような講座を受けることで、入学後への意欲が高まりました。また、小論文や、数学のテストで自分のレベルの低さを改めて感じたので、入学までに基礎をもっと固めていけたらいいなと思いました。
- 実際の学生と講座を受けることができたので良かったと思う。
- センター試験を受験したので、小論文の対策が全くできない。時期をあと2週間遅らすか、AO入試合格通知を同時期にこの試験②があることを知らせて欲しい。
- センター試験と日程が近いことが気になります。AO入試で入学した人は小論文対策に1週間しかかけられないため、日程を遅くして欲しいです。
- 今まで習ったことがなかった心理学について学んで、すごく興味深く楽しかった。
- 高校では知ることのできないことを高校の間で体験することができてよかったです。
- 英語の授業も受けてみたかった。入学したらSAKURAUM会館を存分に利用したい。
- 高校生だけじゃみんな緊張して進めなかったけど、先輩たちが促して進行してくれたので、講座やイベントが楽しかった。
- 自分は内定をもらったから余計に頑張るべきだということを改めて考えさせられました。
- 3つの中から講座を選べるのがいいなと思いました。大学に入ったら、次は違う講座を聞いてみたいなと思いました。
- 大学生の人との交流や講義を受けて、大学の雰囲気を少しだけつかむことができた。とてもいいと思う。初めてあった人と仲良くなれる。
- 一日中ですごい長いと思っていたけれど、実際はすごく楽しかったです。学力テストから時間が経つのが早く感じていました。
- 4月から名桜生という自覚を持って楽しく過ごしていきたいと思いました。
- 入学前に他校の人と関わることができるのは、良いアイスブレイクになるのでありがたい。
- テストだけでいいと思ったけど、講座は楽しかった。



アンケートの結果は、ほとんど肯定的な感想で、当初の目的は達成されたと考えています。

2月12日から始まる「入学前特別講座②（小論文講座・統計学基礎講座）」も、楽しく実りある学びができることを期待しています。

ご協力いただきました高等学校の先生方、授業を公開していただきました本学の先生方、学生団体の皆さんに心よりお礼を申し上げます。

2020年2月10日（月）リベラルアーツ機構 高安美智子